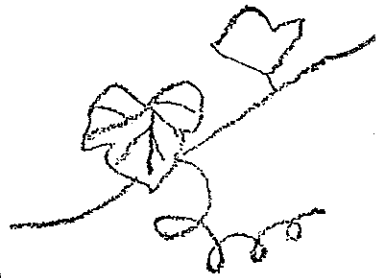
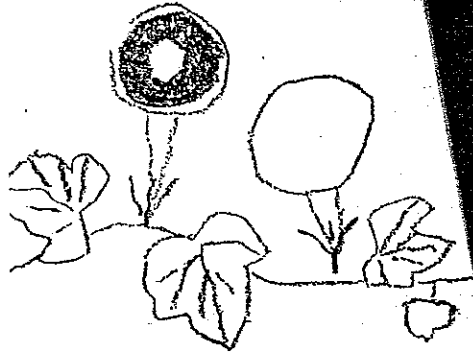


めだかの学校だより

発行：おもしろ人立めだかの学校

住所：引佐町奥山1737-286



めだかの学校に学ぶ

第4回校長・藤工芸家

牧野

久子

つい最近読んだ雑誌の中に「めだかの学校」に似た同じような学校が東京にありました。しかも14年間、滞りなく続いているというのです。そこに集う人がいたから、さらにいえば、自分の知らない世界への興味、出会った人とのつながり。そんなものをそれぞれが大切にしてきたから今があるのだと。その名も吉祥寺村立雑学大学。みんなが講師、みんなが生徒、めだかの学校同様いっぶう変わったこの集まりの中には、高校生から大人まで年齢差も幅広く、現代社会から失われつつある、学びの心が息づいているという。

めだかの学校に集う生徒たちはいったい何を望んできているのだろうか。ただ世間話をし、酒に酔うというのであれば、一杯飲み屋がもっとも適していると思う。知識を得る、何かを学ぶというのは、単に生活のためとか、技術のためだけにあるのではない。もっと広い意味の有用性というか、生活していく上の精神的な部分を豊かにする貯金のようなものだと思う。学ぶということは、教えられたものを一方的に受けることのように思われがちだが、実はそうではない。まず、学ぶ側に何らかの欲求があつて、初めて学ぶ作業がスタートする。それが好きだという思いでも、知りたいという気持ちでも、好奇心でも構わない。そういう心で望むとき、教える側も、また素晴らしい人との出会い、貴重な経験とといったものを通してこちらの欲求に伝えてくれる。これこそが本来の学びの姿であり、そこに喜びや感動も沸き起つてくると思う。

まさしく、めだかの学校そのものだと思う。単なる企業人、仕事人間といった生活スタイルから脱却して、人間性の幅を拡大することを目指した多面的な学習。一人ひとりが来て良かった、こういう生き方、こんな世界もあるのだと、何かを求め、期待して集まってくる生徒たちが感動し、素直な心でお互いを認め、一緒に考えたり、議論したり、お互いに研鑽し会えたら、ますます素晴らしい学校に発展していくと思う。

心の交流を通して自分を磨く、いい言葉だと思いませんか。そういう方向へみんなの力 継続していったらいいなと密かに思っている所です。

謹告!

時として建学のころを失っている不将者がいるので、
もう一度「おろしろ人立めだかの学校」の建学のころを
復習する。 第4回教頭 戸田 昭朗

●建学のころ

人や自然の心を大切に作る人間であるためには、時には先生になり、時には生徒になっておもしろおかしく学ぶということが建学の精神。
「もう一人の私」発見、「もう一人のあなた」発掘により、ともに学ぶ喜びを享受し、人生を楽しくやっていくことが目的である。

●基本に流れる精神

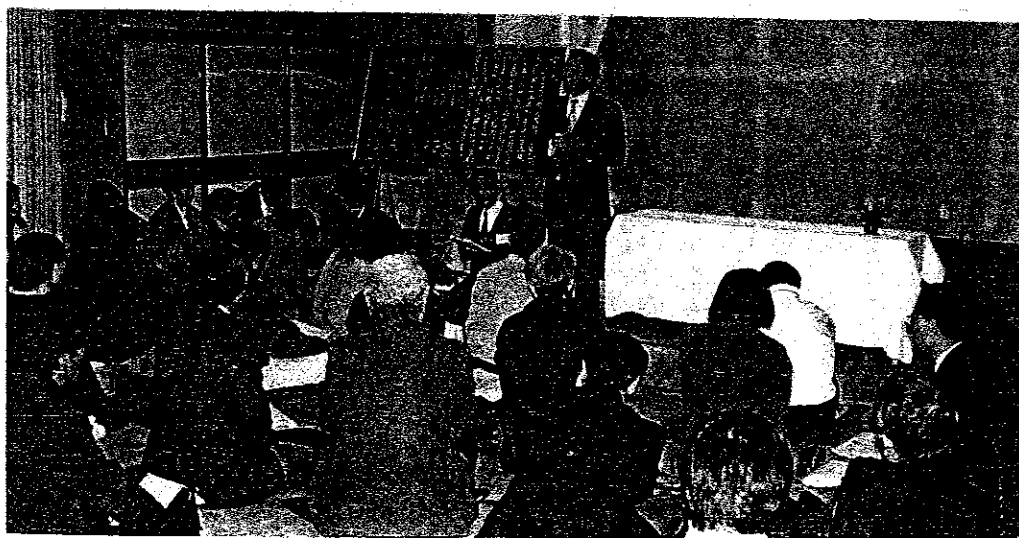
学校の設置母体はあくまでもおもしろ人立。好奇心と遊び心、そして挑戦が「めだかの学校」のコンセプトである。先生も生徒も上下関係を意識しないで、互いの人格や技量を尊敬していくためには、あっけらかんとした楽天的なプラス志向の校風が漂っているということが肝要である。のんきな顔をして、しなやかに、けれどしたたかにふるまう先生と生徒の出会いがこの学校のモットーである。

●運営の方針

先生も生徒も公募。自選他選を問わず。何を教えるかはすべて先生の考え次第、成り行きまかせ。先生も生徒も1年単位の登録制。先生に応募するには何の資格も問わないけれど、まず、最初に生徒として信任されることが唯一最高の資格。資格といえど何びとも「人間が大好き」であること、自分よがりにならないことも資格の中に入る。

●先生と生徒の発掘及びネットワーク

だれが生徒か先生か——とひとつごとでは済まされない。
初めに先生ありきである。まず、建学のころに惚れて入校した先生もしくは生徒はまず「もう一人の私」を発見すると同時にこれまでに培ってきた友人知己のネットワークに手を広げ、先生であり生徒をめだかの学校に引きずり込むことが大切である。その揚句は、大きな声ではいえないが誰にいうともなく「いい人生だった。ありがとうさん」といえるようになるろう。



◀授業風景

素晴らしい時間がありました。ありがとうございます。

あ
間
い

きで
忠博)

です。
十

はい
る。
義男)

あ

く

ゆ

恭代)



心 ころころ ココロ ホッとして、フワッとして.....

第3回めだかの学校放課後に頂いたご意見袋の生徒の意見集です。

この地でこんな催物があるという「お知らせ」の情報提供の場ともしたいものである。
書いて一覽表にすればよい。
(渥美登良男)

聞きたい話
山とは……の話
夏には星の話
浅学の私ができる話としては
開発の話か、河川の話。(服部守孝)
もっとゆっくり生きること！
(紅磨呂)

ルネサンス棚倉の金沢です。
皆様のノリのよさ、遊び心の豊かさに感心しました。
このノリのよさ、遊び心をどうしたら福島県ルネサンス棚倉の人たちに伝えてあげられるか教えてください。私自身もそのノリのよさ、遊び心を持って何かを発信していきたいと思います。
(金沢文枝)

素晴らしかったです。ありがとうございます。給食の時間が楽しく、料理がおいしかったです。こんなすばらしい所を紹介して下さいました。ありがとうございます。
(鈴木正士)

期待いっぱい、わくわくしながらまいりました。すてきな生き方をしている方々を知り、野草を食べ、飲み、まさに楽夢亭……。また次の学校を楽しみにしています。
(中村積子)

ふしぎ感覚、夢ひろがる……
心ころころ ココロ……
ホッとして ふわっとして
(くろ)

はじめて出席しました。人との出会い、人の心のあたたかさ、久しぶりに楽しい一時が持てました。めだかの学校また出席したいです。ご紹介してくださった方々にお礼を申し上げます。
(嶋田淳子)

初めての参加ですので、特にいうことはありませんが、時限の終りに先生と生徒の間で授業内容に関するやりとりがあったらいいかと思います。また、時には昼間(野外)でアルコール抜きでやってみるのもどうでしょうか。(溝口忠博)

非常に楽しく、思った通りでした。人間生きていくということがこういうことだと思えます。日々楽しく前向きにがんばろうと思っています。
(鈴木正之)

古代からイナサを見てみたいですね……。太古のロマンに息吹きを吹き込んでいってみたいです。
(夏目洋子)

今回が最も盛り上がり、今後が楽しみです。
①学校だよりもその都度、前回分の会計報告をしてはいかがでしょうか。
②「メダカ基金」をつくり、積み立ててはいかがでしょうか。用途はみんなで考える。
(伊藤茂男)

他県から来られた人の浜松、引佐の感想など3分〜5分位の短い時間でお話を聞かせてもらいたかったです。
(宮近勝)

今回は先生役につかせていただきましてありがとうございました。学校に来て、何でもいいから一つでも多く得るものがあれば最高です。無理せず、ゆっくり考えさせていただきます。(前嶋恭代)

初めて参加させて頂き、学校建学に感動しています。九死に一生を得て、今、伊勢神宮や駿府マラソンにでるまでになった事はプラス志向で生きることの大切さを痛感しています。(三途の川を見た男 鈴木祥二)

めだかの学校のあゆみ

第1回 校長 平山 豊
 教頭 伊藤茂男
 用務員 武井紀夫
 教師 榊原幸雄
 " 石川味知子
 " 植田睦子

第3回 校長 渥美登良男
 教頭 小野田全宏
 用務員 上嶋裕志
 教師 前嶋恭代
 " 臼井勝文
 " 篠原準八

第2回 校長 見野孝子
 教頭 山内秀彦
 用務員 鴨藤和彦
 教師 近藤至弘
 " 渋谷直樹・和嘉子
 " 山中恵美子

第3回・津軽三味線
 の臼井先生 ▶



第4回めだかの学校は

6月3日(金)午後6時30分～

場所 いなさ自然休養村「つみくさ」

- 校長 牧野久子(籐工芸家)
- 教頭 戸田昭朗(竜ヶ岩洞社長)
- 用務員 匂坂玲子(バラの店マダムヴィオレ)

PM6:20

予鈴

校歌斉唱 めだかの学校のうた

6:30

新入生自己紹介

6:45

1時限目 社会科 野沢 進(引佐町商工観光課長)

7:15

2時限目 家庭科 森口とり子(自然園北山・如是庵主人)

7:45

3時限目 修身科 鈴木祥二(本田技研浜松製作所)

8:15

質問の時間

8:25

校長訓話

8:30

給食の時間 (献立)あゆ雑炊、手延そうめん、うどん、

初夏の野草料理他

